

事業概要

【新たな足の確保に繋がる福祉介護・共同送迎サービスによるデイサービス共同送迎事業】

自治体名	茨城県東海村	人口	37,649人	事業費	10,216千円
------	--------	----	---------	-----	----------

事業概要

タクシー事業者へ福祉有償運送による共同送迎を実施することにより、デイサービス事業者等の負担軽減と人材確保を実現し、同時にタクシー事業者の安定経営及びドライバーの確保、アクティブシニアの活用を目指すことを目的とする。これを実現するためAI共同送迎システムを含む福祉介護・共同送迎サービスを導入することで効率的な配車を行い、本事業の黒字化を目指し、最終的に黒字化した財源を基に新たな地域の足の確保につなげる。

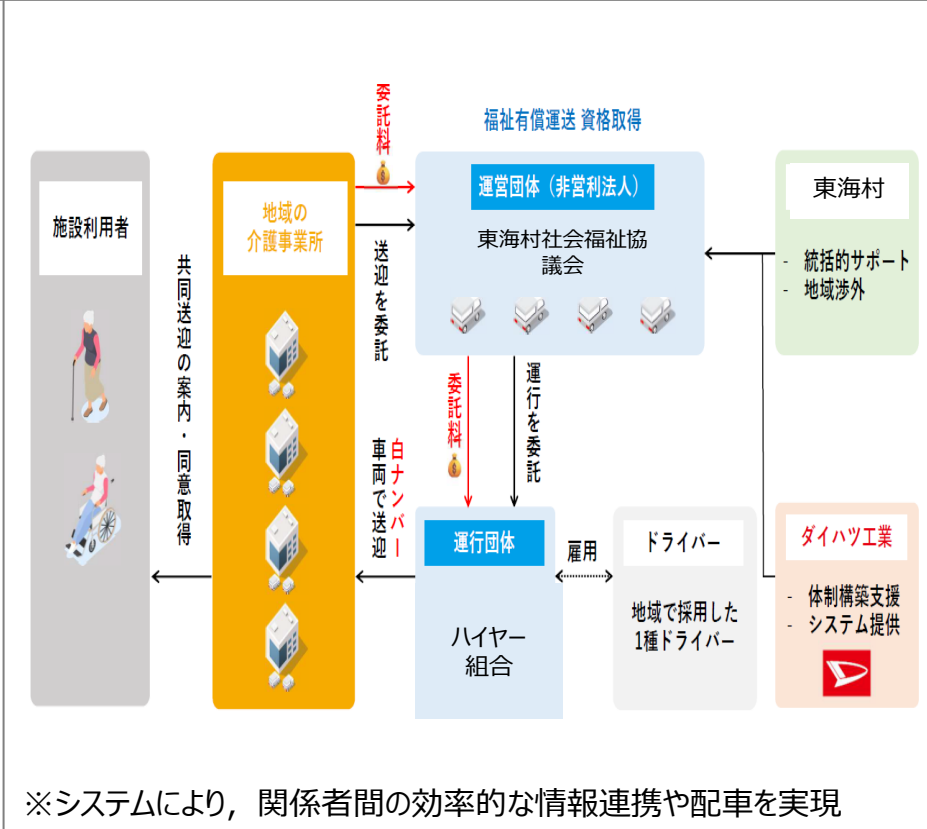
【福祉介護・共同送迎サービス】
 地域でシステムを活用するために以下のサービスの提供を受ける。

- ①システム導入事業所調査・検討サポート
- ②システム導入サポート
- ③システム運行準備，運行後サポート
- ④AI共同送迎システム

AI共同送迎システム（以下、「システム」）を以下のとおり導入する。

- システム導入の目的としては、利用者制約を考慮し、関係者の連携及び効率的なルート設定を行うため。
- システム利用の流れとしては、運営団体においては介護事業所との配車の調整し、システムに登録する。その後、AIによって最適化された配車ルートが作成され、システムを通じてハイヤー組合及びドライバーに配車情報が連携される。

具体サービス



主なKPI

【アウトプット指標（活動指標）】

- ①システム連携事業者数
- ②延送迎利用者数
- ③AI共同送迎システムによる配車件数

【アウトカム指標（成果指標）】

- ①介護職員の満足度
- ②送迎サービス利用者の満足度

事業概要 【都市計画情報デジタル化推進事業】

自治体名	茨城県東海村	人口	37,649人 (12月1日時点)	事業費	42,273千円
------	--------	----	----------------------	-----	----------

事業概要
 本事業は、都市計画に関連する情報をデジタル化し、GISに集約して可視化する窓口公開型GISを導入する。現状、住民や事業者等が窓口で必要な情報を取得する場合、紙媒体の図面では該当箇所の特定や他の資料との照らし合わせ等で時間がかかり来庁者の負担であったことから、GISの検索機能による情報取得や地図情報の重ね合わせ等、デジタル技術で課題解決を図り、利便性向上や待ち時間短縮等、住民サービス向上を目指す。

- 【都市計画情報のデジタル化】**
- ・航空写真撮影及びオルソ画像作成
 - ・都市計画基本図作成
 - ・その他、都市計画情報の地図データ作成
- 【窓口公開型GISの構築】**
 導入時、以下の地図情報レイヤーを公開
- ・航空写真、都市計画基本図
 - ・都市計画情報（用途、都市計画道路等）
 - ・立地適正化計画、防災情報、住宅地図
- 【窓口公開型GISの導入】**
- ・窓口に閲覧端末を設置して、来庁者自ら自由に操作し、迅速かつ正確な情報取得が可能になる
 - ・窓口閲覧・相談等において、GIS上に地図情報を重ね合わせ、わかりやすい情報取得が可能になる

主な KPI

【アウトプット指標（活動指標）】


- ①窓口公開型GISのアクセス数
- ②窓口公開型GISの公開レイヤー数



【アウトカム指標（成果指標）】

- ①窓口公開型GISの利用満足度
- ②窓口対応時間の短縮度合い（差分）

事業概要【いばらきサイクルツーリズム推進強化事業】

申請者	茨城県ほか11自治体※				初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	290,448千円 (52,939千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	人口減少が著しい県北・県央地域において、官民で設立した協議会と連携しながら、サイクルツーリズムの推進による地域振興につなげるとともに、移住・定住の促進に関わる施策を推進することで、将来的に人口増大及び産業振興、地域の雇用確保等につなげる。併せて、サイクルツーリズムによる滞在型観光の構築による消費喚起策を講じ、自転車活用推進によるサイクリング立県いばらきとしての地域ブランド確立を通じ、地方創生を実現する。					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○稼げる地域づくりの実現に向けた環境創造事業 ・首都圏や台湾等へのプロモーション（委託料）10,550千円 ○サイクリングフロンティア開拓事業 ・マイクロサイクルツーリズムの推進及びサイクリングを通じた移住・定住の促進、協議会運営の負担金等（委託料等）9,148千円 ○市町村におけるサイクリング訪問客の受入態勢の構築やサイクリングイベントの実施、レンタサイクルの活用促進等（委託料等）14,142千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サイクルステーション整備にかかる支援 ・サイクリストに必要な設備導入経費の一部補助（補助金）5,000千円 ○シェアサイクルの整備、自転車の購入等（委託料等）14,099千円 				 <p>年3月)</p>	
地域の多様な 主体の参画	サイクルツーリズム有識者や地域メディアなどから協議会の幹事会及び総会においてサイクリストのニーズに応じた事業提案や助言をいただくことで、サイクリスト目線での事業効果の検証、施策への反映に取り組む。				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①サイクリスト宿泊者数（+1,047人） ②サイクリングを伴う教育旅行の誘致回数（+25回） ③移住・定住向けサイクリングツアーの参加者数（+80人）

※茨城県、水戸市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町の広域連携事業

事業概要【シェアキッチン整備事業】

申請者	茨城県東海村				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	117,070千円 (117,070千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<p>・東海村産業・情報プラザ内に「調理設備（シェアキッチン）及び販売の場」を整備し、“事業者（飲食店）の新メニューの先行販売や試作メニューのテイスティングの場としての活用”や“短期出店による目新しさの創出やリピーター客の呼び込み”“飲食店などの開業を目指す起業予定者の創業チャレンジの場としての活用”により、飲食業から魅力あるまちづくりに取組む。</p>					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 JR常磐線東海駅東口に位置する東海村産業・情報プラザ内にシェアキッチンやキッチンカーエリアを整備し、村内の出店場所不足により創業・出店ができない事業者に機会を提供し、東海駅前地域のにぎわい創出と村内における魅力ある飲食店の増加を促進する。</p> <p>【拠点整備事業経費】 シェアキッチン、厨房設備（機器）及びイートインスペースを整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事費 63,320千円 (建築物と不可分な設備工事) ・電気設備工事費 16,120千円 ・機械設備工事費 30,060千円 <p>屋外テラス席及びキッチンカースペースを整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外構改修工事費 7,570千円 					
地域の多様な 主体の参画	<p>シェアキッチンの指定管理者にイベントを開催してもらい、利用者の増加等につなげる。 シェアキッチン利用者の創業を促進するため、商工会、金融機関等と連携して支援に取り組む。</p>				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①東海村の人口の社会増減数（+500人） ②産業・情報プラザ来館者数（+13,860人） ③シェアキッチン稼働率（+90%） ④出店者売上（+1,386万円） ⑤創業件数（+5件）</p>